

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 清和女子中高等学校  
 種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫※注1  
 中学校  中高一貫※注2  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）  
 所在地 〒 783-0007  
高知県 南国市 明見 98  
 E-mail seiwa612@seiwa-girl.ed.jp  
 Website http://seiwa-girl.ed.jp  
 幼児児童生徒数 男子          名 女子 86 名 合計 86 名  
 幼児・児童・生徒の年齢 13歳～18歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

清和女子中高等学校は、「心清く」「平和をつくりだす」人を育成し、純真な精神の上に「地の塩」「世の光」として、社会で輝く人を育てることを建学の精神としています。

本校では、ESD を他人との関係性、社会との関係性、自然環境との関係性を認識し、「関わり」、「つながり」を尊重できる個人を育むことと捉え、ユネスコスクールの活動を通して、「隣人を愛する」ことを目標としました。その目標のもと、清和では、生徒が自ら取り組みたいことを考え、企画し、実施する活動をおこないました。今年度は国際・地域・福祉・子ども・環境の分野のプロジェクトが行われました。



①国際に係わる活動（国際理解）

国際理解、つながりの尊重を柱に、地域の留学生や日本語を学習中の方との交流会を開きました。海外のこと、また高知の良さも実感することができました。

②地域に係わる活動

地域とのつながり、社会とのつながりを柱に、軽トラ市の受付や着ぐるみの手伝い、地区にある星神社とその周辺の清掃活動、育てた花を介護施設にプレゼントする活動、地域の方と高知塩の道を盛り上げていく活動をしました。これらの活動を通して、地域の方との交流が増え、喜んでくれる姿に私たちも嬉しくなりました。地域の方とのつながり、かかわりの大切さを学びました。

③子どもに係る活動

香美市内の児童養護施設（博愛園）の定期訪問や、地域の子ども会への参加・運営のサポートを行いました。これらの活動を通して、私たちでも、身近な人を笑顔にすることができることを知りました。子どもとのつながり、かかわりの大切さを学びました。

④環境に係る活動（環境学習、生物多様性）

明見地区のホタル復興を目標に、生息場所の清掃活動を行い、地域の方と一緒にホタルの観賞会を行いました。この活動によって、地域の方のあたたかさや環境を守る大切さを学ぶことができました。

このような活動をおこない、「隣人を愛する」ということを大切にしています。



①国際に係わる活動（国際理解）



②地域に係わる活動（軽トラ市）



③子どもに係わる活動（大津子ども会）



④環境に係わる活動（ホタル復興）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他( 放課後、休日 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

今年度は特別な教材は使用しませんでした。
----------------------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

具体的な取り組みについては、特別活動の中に組み込んでいます。生徒の自主的な活動を大切にしており、誰かのために自分のできることは何かを考えるていくことは、本校の教育理念と一致するところですが。また、本校では毎朝の礼拝で聖書を開き、自分を見つめる時間があります。その礼拝で「隣人を愛する」という意識を育み、生徒だけでなく、教職員もそのことを意識しながら各教科の授業を展開しています。学校の教育活動全般において、「隣人のために」という意識を持ち、各行事やボランティア活動などを行っていきけるよう、目標をたてて取り組んでいます。今後も自分自身だけでなく周りの人とともにより良い環境を作っていくことを学んでいきたいと思ひます。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

ユネスコスクールプロジェクト委員会を組織し、委員長は学校長より委嘱されます。各プロジェクトに1人のリーダー、そして1人の教員がサポートする体制をとっています。新しいプロジェクトを始めることも可能な体制にしており、生徒の自主的な活動を支える仕組みをとっています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

内部評価はアンケートを生徒・教員・保護者対象に実施しました。今年度は外部評価のアンケートを実施していませんが、継続的に各プロジェクトの活動をしており、施設関係者や地域の方からは概ね評価をいただいています。特に高知県は少子高齢化が進んでいるので、中学生・高校生がボランティアに参加することの意義は大いにあると思ひます。今後、より広がりのある活動にしていきたいです。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。  
※チェック事項 2-2 に対応

インターネットや新聞などのメディアで活動成果を発信しました。中学では月に1回、特別授業として「オーガニクス」という授業を行っています。在来種の麦などを栽培し、生徒が自らの手で脱穀・製粉を行い、ピザを作りました。持続可能な開発のための教育の一環として、ホームページで発信、新聞の取材なども受けています。また、ユネスコスクールプロジェクトの活動も、地域の広報誌などで紹介されており、その取り組みが次第に認知されてきています。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
（200字程度）

今年度は他校と連携して活動することができませんでした。ただ、南国市社会福祉協議会が実施している「なんこくボランティアDAY」に参加し、他の中学生とともにボランティア活動を行うことができました。また、子ども会活動でも、地域の小学生とともに「よさこい祭り」の練習を行い、交流を深めることができました。その中で、外国人協会との繋がりや、観光協会との連携なども生まれてきています。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

将来的には様々なつながりを持ちたいと考えていますが、現時点では生徒数の縮小から難しい状態が続いています。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

一番大きな効果としては、生徒の自主性が育まれ、自ら計画、実行、反省するという流れ（PDCAサイクル）が生まれてきている所です。また、活動を通して、他者と協働することの大切さや、より良い未来を築こうとする意識の向上が見られ、本校で学ぶ生徒たちの意欲の高まりにつながっています。「自分はこんなことがしたい」という自発的な提案も出来るようになり、良い顔で学校生活を過ごしていくことができています。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

国際交流プロジェクトとして、高知在住の外国籍の方と交流する機会を持ち、将来的には日本語をともに学ぶ、月に一度の日本語交流会へと発展させたいと考えています。

地域清掃プロジェクトは、次年度も継続して活動していきます。卒業した高校3年生が中心となって始めた活動ですが、下級生の中にも興味を持っている生徒がおり、今後も地域の方とともに清掃活動を行っていきます。その他の地域活動にも積極的に参加し、南国軽トラ市、土佐塩の道でのボランティア、オーガニックフェスタでの活動紹介なども行っていきます。

環境プロジェクトでは、蛍プロジェクトを行っていきます。昨年度は行えなかった、蛍の飼育にも挑戦したいと考えています。また、施設に花を届けるプロジェクトでは、介護施設だけでなく、保育園や幼稚園などにも花を届けたいと考えています。

福祉プロジェクトでは、次年度も地域の子供会のサポート、福祉施設でのボランティアなどを行っていきます。その中で、「誰かのために」自分には何ができるのかを考え、行動できる生徒へと成長することを期待しています。

高校3年生から下級生へのバトンタッチをしっかりと行い、活動を続けるだけでなく、新しい企画が企画・実施できるよう、生徒の自主性を重んじた活動という原則を意識して取り組んでいきたいと思えます。